

PS 及び SM の 2024 年 12 月度および年間実績概況

(PS)

1) PS の 2024 年 12 月度の実績概況

生産は 41.2 千トンとなり、前月比-20%、前年同月比-14%となった。

国内出荷は 40.8 千トンで、前月比-10%、前年同月比では-14%となった。

用途別では、包装用は前月比-9%、前年同月比-11%の 19.6 千トンとなった。分野別では、前月比で、乳酸菌がプラス、HI シート、OPS、射出成型その他がマイナスとなった。前年同月比は、全ての分野でマイナスとなった。

雑貨・産業用は前月比-11%、前年同月比-21%の 5.5 千トンとなった。

フォームスチレン用は前月比-13%、前年同月比-19%の 11.4 千トンとなった。PSP、ボード分野共に、前月比および前年同月比がマイナスとなった。

電機・工業用は前月比-5%、前年同月比-6%の 4.3 千トンとなった。前月比では家電がプラス、事務機器、記録メディアの分野がマイナスとなった。前年同月比では事務機器がプラス、家電、記録メディアはマイナスとなった。

輸出は、前月比-14%、前年同月比+23%の 2.4 千トンとなった。

出荷合計は 43.3 千トンと前月比-10%、前年同月比-13%となった。

在庫は、前月比-3%、前年同月比-9%の 75.8 千トンとなった。(在庫月数 1.8 ヶ月)

2024 年 11 月度の輸入は前月比-17%の 5.2 千トンで、前年同月比ではプラスとなった。11 月までの累計を年間に換算すると 55.1 千トン相当となる見込み。

2) PS の 2024 年 年間の実績概況

2024 年年間生産量は、548.5 千トンとなり、前年比-3%であった。

国内出荷は 522.8 千トンとなり、前年比-6%となった。

用途別では、包装用は前年比-7%の 241.8 千トンとなり、分野別では、全ての分野でマイナスとなった。雑貨・産業用は前年比-10%の 68.0 千トンとなった。フォームスチレン用は前年比-5%の 154.6 千トンとなり、PSP,ボード分野共に前年比マイナスとなった。電機・工業用は前年比-1%の 58.3 千トンとなり、事務機器分野のみプラスだった他、家電、記録メディアは前年比マイナスとなった。

輸出は、33.3 千トンで前年比-1%となった。

出荷計では、前年比-6%の 556.1 千トンとなった。

在庫は、75.8 千トンとなった。(在庫月数 1.8 ヶ月)。

2024 年の輸入は、1～11 月まで、6 月を除く各月で前年同月を上回っており、11 月までの累計は 50.5 千トン、年間に換算すると 55.1 千トンに相当し、前年比+40%となる見込み。(昨年、年間 39.4 千トン(実績値))

2024 年を振り返ると、一昨年度の減少幅よりは少なかったものの、年間の国内出荷が、昨年比-6%、輸出が-1%と減少した。結果として生産も対前年比-3%の減少となった。一方、PS の輸入については、24年は 11 月までのデータからの換算であるが、2022年以降年率約 40%の増加が見られ、中国の内製拡大と景気不振により行き場のなくなったアジア各国からの輸入が増加していると思われる。

内需を用途別にみると、各用途で前年を下回っており、2024 年は、雑貨・産業用途での落ち込みが目立つ結果となった。

(SM)

1) SM の 2024 年 12 月度の実績概況

生産は、前月比+21%、前年同月比+3%の 132.3 千トンとなった。

国内出荷は 89.0 千トンとなり前月比-13%、前年同月比-2%となった。

用途別では、主力の PS 向けは前月比-16%、前年同月比+2%の 39.9 千トンとなった。EPS 向けは前月比-9%、前年同月比-11%の 7.8 千トンとなった。ABS 向けは前月比+39%、前年同月比+5%の 18.5 千トンとなった。合成ゴム向けは前月比+11%、前年同月比+20%の 9.6 千トンとなった。不飽和ポリエステル向けは前月比+43%、前年同月比-3%の 3.1 千トンとなった。

輸出は、前月比+42%、前年同月比-2%の 29.3 千トンとなった。

出荷合計は、前月比-4%、前年同月比-2%の 118.3 千トンとなった。

在庫は、前月比+33%、前年同月比-12%の 56.5 千トンとなった。(在庫月数は 0.5 ヶ月)

2) SM の 2024 年 年間の実績概況

2024 年年間生産量は、1,296.7 千トンとなり、前年比-9%となった。

国内出荷は 1,096.8 千トンと前年比-1%となった。

主力の PS 向けは 527.8 千トンと前年比-3%であった。ABS 向けは 195.1 千トンで前年並み、合成ゴム向けは 89.6 千トンと前年比-2%、EPS 向けは 91.5 千トンと前年比-1%、不飽和ポリエステル向けは 26.7 千トンと前年比-22%であった。

輸出は 207.7 千トンとなり前年比で-36%となった。

出荷計では、前年比-9%の 1,304.5 千トンとなった。

在庫は前年比-12%の 56.5 千トンとなった。(在庫月数は 0.5 ヶ月)

2024 年全体では、生産量、内需とも低調だった 2023 年を更に下回った。輸出については、4~10 月の出荷量の落ち込みが影響し、年間輸出量は、対前年比で-36%となった。内需を用途別にみると、ABS 向け以外は、各用途で前年を下回っており、特に不飽和ポリエステル用途での落ち込みが目立つ結果となった。

(以上)